

第1回 門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会 議事録

日 時：平成24年5月21日午後2時40分～4時30分

場 所：教育委員会3階 第1会議室

出席者（委員）：下村委員長、今西副委員長、山田委員、川村委員、岡本委員、稲毛委員、中野委員、森本委員、柴田委員、桂委員、清澤委員、宮本委員、石原委員

（事務局）：三宅教育長、渡辺次長、脊戸課長、東田課長補佐、清水主任、大家主査、藤田係員

（コンサルタント）：株式会社アール・アイ・エー 大阪支社 上田、山本、高見

議 題：

案件1…委員長、副委員長の選出

案件2…会議の公開について

案件3…今後の進め方について

案件4…市民アンケートについて

その他

事務局（司会） ただ今から門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会を開催いたします。

私は本委員会委員長が選出されるまでの間、司会を務めています地域教育文化課長の脊戸でございます。円滑な議事進行にご協力を賜りますようどうかよろしくお願い申し上げます。開会に当たりまして三宅教育長からご挨拶を申し上げます。

三宅教育長

皆さんこんにちは。改めまして教育長の三宅でございます。本日はご多忙の中にもかかわりもせず門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会にご出席賜り、まことにありがとうございます。前からの引き続きの委員の先生もおられますけれども委員の皆様におかれましては、委員の就任を快くお引き受けいただきましてありがとうございます。重ねてお礼を申し上げたいと思います。

さて体育館と生涯学習複合施設の建設については、本市の喫緊の課題であるとともに、街の顔として市民の皆さんから親しまれ、また門真市のランドマークとして本市の表玄関を飾るということになる、重要な施設であります。委員の皆様におかれましては、長きにわたって市民の皆様から愛される、将来を担う子供たちの誇りとなるに相応しい施設の基本構想・基本計画を策定していただくよう重ねてお願いを申し上げます。ひとつよろしく願いいたします。

事務局（司会）

ありがとうございました。委員会を始めるにあたりまして、お手元の資料をご確認ください。全部で8点ございます。

まず第1回門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会出席者一覧でございます。次に同じく座席表でございます。次に資料1-1同じく

策定体制でございます。次に資料2-1同じく策定委員会設置要綱でございます。次に資料2-2審議会等の会議の公開に関する指針（抜粋）でございます。次に資料2-3策定委員会の会議公開要領（案）でございます。次に資料2-4策定委員会傍聴要領（案）でございます。最後に資料3策定委員会スケジュール案、以上でございます。併せてお手元に水色のファイルで門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会というのもお手元に参っていると存じます。もしもれているものがございましたらご連絡くださいますようお願いいたします。よろしいでしょうか。

本日のご出席の皆様をお手元の出席者一覧の1ページ名簿の順にご紹介を申し上げます。

大阪府立大学大学院教授の 下村委員でございます。

下村委員 下村でございます。よろしくお願いたします。

事務局（司会） 神戸学院大学教授の今西委員でございます。

今西委員 今西です。よろしくお願いたします。

事務局（司会） 門真市社会教育委員で公益財団法人大阪体育協会副会長の桂委員でございます。

桂委員 桂でございます。よろしくお願いたします。

事務局（司会） 門真市公民館運営審議会委員で門真市立文化会館サークル代表の宮本委員でございます。

宮本委員 宮本です。よろしくお願いたします。

事務局（司会） 門真市図書館協議会委員で絵本ことの葉会代表の石原委員でございます。

石原委員 石原です。よろしくお願いたします。

事務局（司会） 門真市スポーツ推進委員協議会委員でスポーツ推進委員協議会副会長の山田委員でございます。

山田委員 山田です。よろしくお願いたします。

事務局（司会） アートリーグ門真代表の清澤委員でございます。

清澤委員 清澤です。よろしくお願いたします。

- 事務局（司会） 門真市体育協会を代表しまして、門真市卓球連盟会長の岡本委員でございます。
- 岡本委員 岡本です。よろしくお願いいたします。
- 事務局（司会） 門真市幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会会長代理の川村委員でございます。
- 川村委員 川村です。よろしくお願いいたします。
- 事務局（司会） 総合政策部長の稲毛委員でございます。
- 稲毛委員 稲毛でございます。どうかよろしくお願いいたします。
- 事務局（司会） 総務部長の森本委員でございます。
- 森本委員 森本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 事務局（司会） 都市建設部長の中野委員でございます。
- 中野委員 中野です。よろしくお願いいたします。
- 事務局（司会） 生涯学習部長の柴田委員でございます。
- 柴田委員 柴田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 事務局（司会） 併せまして事務局職員5名と本計画策定にかかる業務を担当するコンサルタント会社が同席しておりますのでご報告をいたします。
続きまして、新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定にあたって事務局より説明をさせていただきます。
- 事務局 新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定にあたって、その経過等をご説明申し上げます。
平成19年に策定いたしました門真市都市ビジョンを受け、平成21年3月に策定いたしました幸福町・中町まちづくり基本計画において本地区内に立地する公共施設について生涯学習複合施設として体育館・文化会館・図書館を検討すべきとの考えを示しました。その後第一・第六中学校統合に伴う新校建設のため、平成22年度市立体育館を解体いたしました。また文化会館におきましても本町・中町まちづくり基本計画において、平成29年度までに建替えというスケジュールが示されております。これを受け、平成22年度から実施した庁内における公共施設のあり方の議論の結果、体育館についてはできるだけ早期に建設することとし、また文化会館は建替えのスケジュールまでに、新たな施設を建設することとしたものです。また、今回文化会館機

能との複合を予定しております図書館につきましては、近隣の類似人口の都市との比較により、人口一人当たりの貸出件数、蔵書件数が大きく下回っており、また老朽化や閲覧コーナーのなどの施設が、文部科学省が定めている公立図書館の設置と運営上望ましい基準に示されているような図書館サービスの提供は、困難な状況にあり、建替え等を含めた検討が必要というもう一方の課題がございました。そこで文化会館機能と図書館機能等を併せ持つことのメリットを検討したところ、利用者同士の交流の活性化、書籍等の学習資料の活用の方が一体的である学習活動環境の充実、周辺地域への効果といたしまして様々な付帯が集まることによる賑わい創出が期待できることなど、相互の施設の機能を補完しつつ、また複合学習施設として相乗効果が大きく期待できる、との結論に至ったものでございます。このような考え方によりまして、平成23年4月に策定いたしました財政健全化計画中期財政見通しや、平成24年3月に改定いたしました都市計画マスタープランにおいて、建設スケジュールや建設候補地などについての概略を市民の皆様にお示ししているところでございます。

続きまして、本委員会における施設建設に向けた検討の過程におきましては、本年度から本格的な策定を進めております生涯学習推進基本計画との整合性を図る観点から、ご議論をお願いしたいと思います。また、本市第5次総合計画におけるまちの顔づくりという観点から、都市景観を構成する上でのランドマークとしての役割、街並みや周辺エリアにおけるまちづくりへの調和についても、非常に重要な要素であると考えております。策定体制につきましては、資料1-1にお示ししておりますとおり、本策定委員会の下部組織に関係各課課長級職員による幹事会を設置し、実務者レベルの議論もあわせ、双方向の議論により策定を進めるものでございますので、よろしくお願い申し上げます。

事務局

それでは次第に従いまして進めさせていただきます。

案件1 委員長副委員長の選出について、でございます。お手元でございます資料2-1本策定委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員長及び副委員長は互選により定めることとなっております。選出に当たりましていかがいたしましょうか。

桂委員

すみません。失礼ではございますけれど、推薦させていただいてよろしいでしょうか。学識経験者からでいらっしゃいます下村委員に委員長を、そして副委員長に今西委員をお願いしたらどうかと思いますが。

事務局

ただいま、桂委員から委員長に下村委員、副委員長に今西委員とのご推薦がございましたが、いかがでしょうか。

委員全員

異議なし。

事務局

ありがとうございます。異議なしとのご発声をいただきましたので、委員長には下村委員、副委員長には今西委員にご就任いただくことと致します。

(委員長、副委員長 席移動)

委員会を代表して、下村委員長にご就任にあたりましてのご挨拶をお願いいたしたく存じます。よろしくお願いいたします。

下村委員長

ご推薦いただきました下村でございます。微力ではございますが、皆様にご協力を得まして、基本構想から基本計画を策定してまいりたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

実は、生涯学習推進基本計画策定委員会の委員長であられる今西先生に副委員長を務めていただきまして、恐縮いたしており、またありがたく思っております。先ほどの策定委員会を傍聴させて頂き、生涯学習とはどういうことなのかを拝聴して参りましたが、それがうまく実現できるような施設を具体的にどういうものを作っていくのか、そういった都市計画や建築計画に向けて外してはならない、必ずこれだけは計画に結びついていていただきたいということを、盛り込んだ基本構想から基本計画の策定へ向けて皆様のご協力いただきながら、私も色々と勉強させていただき務めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

私は、門真の方では、建築と都市計画の方でお手伝いさせていただいている関係で、こういう席に呼ばれていると思いますが、都市の中で生涯学習やスポーツ系文化系と色々な分野でご担当いただいてご活躍されている部門の方々がおられると思いますので、皆様のご意見を頂戴しながら、そういうことが実現可能な場所を残したい。と同時に、都市計画マスタープランの中で位置づけられている点にも配慮し、都市核としてのランドマークという言葉がありましたが、中身がすばらしい施設でありまして、街並みと揃っていないとかアクセスの状況が悪いとか、駅から取り付けが悪いとか、そういうことがあっては、せっかくの中身がいい施設が台無しになってしまいます。従いまして、やはり多角方向から施設を見ていく必要があると思っております。その中で、市役所内部で構成されております連絡会議等も動かしていただけるということですので、そのなかで具体的な検討調整をいただきながら、この場では、どうぞ忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、将来皆様が楽しく健康で、文化的な香りがして、豊かな施設になってほしいと思いますので、眉間にしわを寄せた会議というのは、中々楽しくないと思っておりますので、どうぞ皆さん、ニコニコしながらご意見を頂戴できれば、この会議も進んでいくと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。長くなりましたが以上でございます。

今西副委員長

僭越ですが、今委員長がおっしゃって頂いたように、新しいランドマークとなる建物を作る中で、生涯学習の思想性というか、ちょっと難しい言葉ですが生涯学習の考え方が盛り込まれた、そういうセンスのあることで、私なりに自分の専門分野になるので意見を出させていただきますし、皆様方全員のそれぞれの思いを込めて、みんなで作っていくというので、下村委員長を中心に、よろしくお願いいたしますと思っています。以上です。

下村委員長

よろしくお願いいたします。皆様もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは議事運営を委員長にお願いしたいと存じます。委員長よろしく申し上げます。

下村委員長 はい、それでは私の方で進めてまいりたいと思います。
まず案件2 会議の公開について事務局の方から説明をしてもらいます。

事務局 案件2につきましてご説明を申し上げます。本委員会におきましてご議論をいただきます内容につきましては、市民の関心や注目が高いと思われまますので、その過程の透明性をいっそう高める必要があると考えております。

続きましてはお手元の資料2-1 門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会設置要綱第10条に基づき、策定委員会は公開するものとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また会議録につきましては、発言趣旨などを確認できるような形での全文表示とさせていただきます、委員各位のご確認を頂いた後にホームページにおいて公開いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

続きまして、門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会の会議の公開要領についてであります。この要領につきましては、資料2-2 審議会等の会議の公開に関する指針に基づき定めるものでございます。要領につきましては、1 会議の公開、2 公開の方法等、3 傍聴の受付等、4 会場の秩序維持、5 会議開催の周知、6 会議記録の閲覧等、7 事務局の設置場所、8 その他でございます。

続きまして、お手元の資料2-4 門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定委員会 傍聴要領（案）でございます。これは、本策定委員会が公正かつ円滑に行われるよう傍聴に関する遵守事項を定め、傍聴者への周知に努めるものとしております。内容につきましては、1 傍聴の手続、2 会議の遵守事項、そして3 会議の秩序維持を並べております。内容につきましては以上でございます。

下村委員長 ありがとうございます。今のご説明いたしました中で何かご質問等がございましたら、ぜひこの場でご意見をいただきますように、よろしくお願ひいたします。

何かございますでしょうか。基本的には会議につきましては、オープンという形でさせていただいて、傍聴も公開もするという形で進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしゅうございますでしょうか。では、そういう形で進めさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

それでは次に、公開議事録・傍聴については原案通りという形で進めさせていただきますので、次に案件3について説明をお願いしたいと思います。今後の進め方でございます。事務局よろしくお願ひします。

事務局 お手元の資料3 スケジュール表をご覧ください。本日の第1回目をスタートと致しまして、来年3月に策定とさせていただきます。スケジュールの詳細につきましては、コンサルタント会社の方から説明をさせますのでよろしくお願ひします。

私どもは今年度、門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定業務というのを受託いたしましたアール・アイ・エーというコンサルタント会社でございます。この1年皆様と一緒に良い計画案構想案を作っていきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

早速ですが、資料3ということでお手元の一番最後のページ、閉じてあるものの最後のページについて、簡単にご説明させていただきます。座らせていただいて説明します。本年度はこの1年をかけまして、基本構想という部分と基本計画という2つの部分を策定していくということで委託を受けております。という形の中で、基本構想では大きくは現状・課題・問題点等々を把握しつつ、更に市民の皆様の意向を踏まえながら、どういう形がいいのかというあたりをまとめていくという、概略をまとめるというものを、9月の始め頃の予定で考えております。それから基本計画につきましては、その後9月以降に構想を受ける形で、一定の具体的な計画案について構成等をまとめていくという形を考えておりまして、この中で市民の意見を聞くということで、パブリックコメント等の実施も含めて行っていきたいと考えておりまして、2月末といえますか3月初めぐらいには、基本計画案を取りまとめるというのが大きな流れになっております。皆様のところには、一番上にあります策定委員会ということで、今日本日21日が第1回ということでございますが、以下そういう形と先ほどで説明がございましたが、市の中での庁内の調整ということで幹事会というのを設けていただいている、そこの議論を挙げていくという形になろうかと思っております。あとパブリックコメントの内容ということでございます。先ほど言いましたように、基本構想につきましては、この5月に基本的には現況とか、課題とかを今検討中ということでございます。それからアンケートにつきましては、市民アンケートを6月の下旬から7月の半ばぐらいにかけて、実施をしたいと思っております。これについては、後の第4番目の議案でありますので、詳細についてはその時にご説明させていただきます。ということで、本日そのあたりのアンケート項目について、委員会さんとしてのご意見をいただきたい。それを受けて6月の始めにはアンケート案を取りまとめて、それは中々委員会というのは難しいと思っておりますので、何らかの形で確認をいただくという形で手続に入らせていただければと思っております。アンケートの結果としましては、7月半ばから8月初めあたりに一応整理・分析ということを予定しております。その結果については、速報という形でお示しするような形にさせていただいて、構想としましては9月の中旬ぐらいに、課題とアンケートの内容等を踏まえた形での構想案の審議をいただきたいと思っております。それから基本計画の中では、主要な課題の整理、機能・規模の調査、施設運営検討とか施設計画案等々の検討を行うという形になってございまして、そのあたりを9月の下旬から11月の半ばぐらいに行いまして、この段階では最終的なプラン的なものではなくて、機能構成というあたりになろうかと思っておりますが、それを中心とした基本計画の素案というのを作らせていただきます。それをパブリックコメントという形で、パブリックコメントにつきましては1月の実施を予定しておりまして、12月はそのための手続き関係の時間と考えておりますので、11月半ばから下旬ぐらいに基本計画のとりあえず素案的なもので、揃えさせて

いただくと考えております。それを受けてパブリックコメントを実施するというのと並行して、施設計画案についての少し踏み込んだ議論を1月あたりをお願いするような形かなと思っております。さらにパブリックコメントを踏まえて、最終的な基本計画案のまとめを3月に行いたい、という形で考えているところでございます。これが今年度、この基本構想・基本計画策定委員会の方でご議論頂く大まかなスケジュールということでございます。説明の方は以上でございます。

下村委員長

はい、ありがとうございます。これにつきまして何か皆様の方からご質問はいかがでしょうか。大きな基本構想と基本計画をどういうふうなスケジュールで決めていくかというスケジュールでございますが、まだ具体的な現状や課題、問題点の整理ということで、今お話があったアンケートを実施してそれから、基本構想基本計画に結び付けていくような形になっております。基本計画の中で基本構想を受けたような形で、ご意見やアンケート結果を元に課題整理をして、具体的な費用の概算や具体的な建物内の機能構成などをご提案いただくわけですが、どういう活動をしたいとか、その人数は何人ぐらいとか、皆様のいろいろなご意見をいただいて、そういうボリュームの話についても詰めていきたいと思っております。最終的には、今回は実施設計ではありませんので、基本計画ですのでだいたいの形がこういうような形なるのではないかと、というのが最後の2月と書いてあるところで浮き彫りにさせていただければと思っています。具体的なイメージのパスとか実際にそのとおりになるかというのは、また次年度以降の実施計画に向けての話になってこようかと理解しております。いかがでしょうか。だいたいのスケジュールでこういう形で進めさせていただきたいと思うのですが。

ちょっと確認させていただきたいのですが、基本構想や基本計画を作っていくときの条件整理の項目というのは、どういうことを考えられているのでしょうか。次の時にはアンケートに入ってしまうのですよね。

R I A

はい。

下村委員長

基本構想の課題整理の時の案作成と書いてあるところですね。ここに基本構想作成とあるのですが、その中の現状・課題・問題点の整理が現状・問題・課題というのはこのどんな項目を、考えておられますか。生涯学習での問題ですか。それともスポーツ関係での今の現状ですか。

R I A

これについては、その2つのことがひとつの委員会の中であるので、2つの施設ということでよろしいですかね。同時にちょっと審議いただくという形になろうかと思うのですが。

下村委員長

生涯学習で今、実施されている学習の施設上の市全域での課題を踏まえるわけですか。

事務局 今回ご議論いただきます図書館・体育館の機能についての課題ということでございます。

下村委員長 今回の対象敷地の課題整備が必要かどうかというところを、少し検討しておく必要があるのではないかと思います。実際の実施設計に向けての基本計画を結び付けていくものの敷地をどう捉えていくのかとか、都市計画マスタープラン上でここはどの位置づけていけるのかとか、あと駅からのアクセスであるとか、バス停がどこにあるとか、周りの道路に歩道がついているのか、何かそういうふうな敷地の状況とか把握して機能整理をしておくのはいかがですか。

事務局 委員長のおっしゃるとおりです。当然ながら現状の敷地の位置を都市マスとの整合や、ここをどうしていくのかという整理は必要かと思えます。

R I A それについては、たぶん基本計画の中でこの敷地を検討するときにということで、たぶん構想ではそのあたりのアクセスが大事だとか的な話も含めて、そういうことに言及されていくのかと思っております。ある程度基本計画の中でそれぐらいの敷地の具体的にイメージの中で構成するときに、そのあたりの課題等も踏まえるということかと思っております。

下村委員長 今、ご説明いただきましたように、おそらく大きく2つの条件が必要になってこようかと思っております。ひとつは、先ほどの生涯学習そのものの見方でありまして、本市が取り組むべき学習スタイルでありまして、理念整理でありまして、そういうことを今日の前半の会議でやっておられたような、そういう大きな枠組みであります。その生涯学習等といった理念を実現するために、どういうことを計画の中に盛り込んで、それらの活動の受け入れの場として施設整備すべきかを検討することかと思えます。二つ目として、事務局から説明がありました周辺の街並みの話でありまして、ランドマークという話でありまして、最低押さえておかなければならない建築計画、都市計画上の課題整理の話かと思えます。そういったお話が、おそらく委員会の中でその話が出てくるという形でのよろしいのでしょうか。結果として、施設内部が使いやすいとか、内部が非常に快適であるとか、ということと、まわりの環境や景観にそったもので、賑わいや活力、潤いも感じる施設であるとか、両面から検討することが必要と思えます。せっかく費用をかけてやるわけですので、そういうことも必要になってこようかと思えます。市役所内部で調節のときも、ぜひ建築の方からもあるべき姿でありまして、景観上の配慮でありますとか、そういうところでいかに着地点を捉えていくというところが、非常に重要になってこようかと思えます。私はここに座らせていただいているのは、そういう意味なのかなと理解しております。本来今西先生がなられるべきだと思っておりますが、そういう点を押さえていって、必ずこれだけは次の実施に向けての設計条件で、これだけは守っていただきたいという条件整理をまず基本計画の中で詰めていかないと、中は快適だけれどちょっとこんな形や色でいいのか、という話になってこようかと思えますので。こういうような公共施設の

ガイドラインというのは、大阪府の景観計画の中で謳っておりますので、計画がそのまま対応することになるかと思えます。したがって、その押さえも必要になってくるかと思えます。せっかくやっていくわけですので、必ず押さえおかなければならないことは全部押さえしていきたいと思えます。ご負担になるかも知れませんが、ご意見いただければありがたいと思えます。まだ具体的な内容までは煮詰まっていない箇所もあろうかと思えますが、何かスケジュールに関しまして、皆様の方からご意見がありましたら、ぜひ作業が進む前の段階でご意見を賜れば、後戻り等々も無くなりまして短い間での構想・計画をダブルで進めていくということになりますので、はいどうぞ。

清澤委員

アトリリーグという市民団体で、芸術文化の振興による門真市の活性化というような項目をあげておりまして、メンバーの中の意見としても、この計画は非常に大切だということになっていまして、それは、ひとつはこの街のイメージアップということも含めて、何かインパクトのあるものが、中の使い勝手とは別に求められてくるのではないかとも思っております。今、委員長がおっしゃったようなところが非常に大事かなと思っております。本来の門真市というのは、施主としての建築・都市空間づくりをどんな意気込みでやるのか、というあたりをきっちり押さえおく必要があるのかなと。今、三宅教育長がおっしゃったように、例えばランドマークということだと思いますと、やはり門真のこれからブランドをリードしていくような内容のものとして、外観も含めてどうしていくのだとかということについては、ひとつ大きな基本的な答というのは、むしろその場であるとか、やっておく必要があるのではないかなと思えます。

アンケートばかりに頼りますと、市民のアンケートも非常に大事だと思うのですが、総花的になってくると、ちょっとそうした感覚で欠けてしまうようになるのではないかと思っております。アール・アイ・エーさんがお入りになって進めていただけるということですから、逆に言いますと構想の前段階ですね。例えばランドマークあるいは緑と調和するとか、あるいは市民の公共の場で広場も含めて確保されるとか、というのは形を打ち出しておく必要があるのではないかということになるかと思えます。それは市民のアンケートを踏まえてからということ、もちろん良いと思うのですが、心構えとして当局の方としてやはり確認しておく必要があるのかなと思えます。それから思いますと、まだ白紙ということでもよろしいのですか。

R I A

そうですね。まだ今のところは我々も委託を受けたところで、これからということかと思えます。

清澤委員

すでに、はすはな中学校だとか、何か一種の特徴のあるデザインがすでに先行していますよね。そのあたりが元々のラインで何かひとつはあったのかなと思うのですが、それはないわけですね。

事務局

街中との調和という中で街並みということもございまして、外すとことはないの

かなと考えております。さらに含めてご議論いただきたいと思います。

下村委員長

今、ご意見がありましたように、いかに市を代表するようなランドマークとして地域の活性化に繋げるかインパクトがある方がいいのか、将来の街の装いを先導するようなプランになるのか、もしくは門真らしさを構成するような割と抑えたようなデザインにするのか、そのあたりというのは中々難しいところはあるかと思いますが、使いやすい誰もが使い勝手の良いという話で、そういうデザインは考えなくてはいけないでしょう。最低限抑えて行く必要があるかと思いますが、その辺の外してはならない項目というのはどういうことなのかを、基本構想から計画に移る中で基本計画の後になるかもしれませんが、そういうことで条件として次の実施に向けてというプラン作りになるかと理解しております。ぜひ皆様も気になるところがありましたら、ぜひご意見を頂戴しまして、皆が使い易い生涯学習施設があるべきかと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひしたいかと思っております。他にいかがでございましょうか。

こういう流れの中で、基本構想と基本計画を作ろうというのは至難の業でございまして、それを皆様のご意見を頂きながら進めて参りたいと思っておりますので、進行につきましてもぜひご協力をお願いしたいと思います。このスケジュールに関しまして事務局の方から何か補足の説明は、この件に関してはよろしゅうございましょうか。

事務局

ありません。

下村委員長

はい。それではスケジュールはこのような感じでいくということでご理解いただければと思います。

それでは案件4に入るわけですが、市民アンケートに関しての説明をお願いします。

事務局

案件4につきましてご説明いたします。お手元の資料4を門真市新体育館・生涯学習複合施設建設 基本構想・基本計画策定市民アンケート（案）をご覧ください。本アンケートは、市民の皆さんが新しい施設に関し、どのような施設サービスを期待しているのか、また実際の利用者に関し、利用者の動線や建物の内外部の検討のために実施するものです。アンケート項目などの詳細説明は、コンサルタント会社の方からご説明申し上げますのでよろしくお願ひいたします。以上でございます。

R I A

それでは、またご説明の方をさせていただきます。資料は別綴じになっていて、お席の方に配られているかと思うのですが、こういうので別綴じのものがあるかと思うのですが、よろしゅうございましょうか。アンケートに入る前に今ちょっと説明がございましたけれど、目的と致しましては、大きくは体育館と生涯学習複合施設、図書館機能と文化会館機能を併せ持つという形のものについて、2つの施設について現在同類の施設の需要実態と、新しい施設に対する要求というかニーズの把握というのを、目的にしたいと思っております。それから対象は、無作為抽出による市民様2000名と、スポーツ・文化関連団体ということでだいたい500個ほど市内にあるとお聞きしておりますので、500団体さんの方にアンケートをお配りしてお聞きす

るというように考えております。対象となる市民さんにつきましては、どこまでを対象とするかということで、事務方の方と検討いたしまして、一応図書館等も含めると中学生ぐらいから上の世代という形で、色々ご意見を聞くのがいいのではないかとという形になりました。また一方、中学生といっても1年生、2年生では難しいのかなということで、中学生については、中学三年生という形を代表として大卒で言うと15歳という形を、厳密に言いますと平成9年の4月1日以前に生まれた方を対象にしたかどうかという形で、今抽出するということを考えたらどうかと考えております。アンケートにつきましては、市民の方のものも各団体さん宛のものも、同じ内容ということで今考えております。というような形で構成させていただいております。4番目の資料について読ませさせていただきます。

市民アンケート（案）ということで、門真市では子供から高齢者までみんなが、健康で、楽しくいきがいのある人生をおくれるように、生涯学習やスポーツに親しめる環境の充実を図っていきます。そのため、「体育館」と、「図書館と文化会館の機能を合わせた生涯学習複合施設」を新しく建てることとなり、市民の皆様のご意見をお聞かせいただきたいと考えております。つきましては、ご多用のところお手数ではございますが、本アンケート調査にご協力をお願いいたします。アンケートのご回答は、同封しております返信用封筒に入れ、7月 日までに返信いただきますよう、よろしくをお願いいたします。ということで門真市教育委員会から出すということです。アンケートの構成というのは、その下に書いてございますが、大きくは、あなた自身についておたずねします。いわゆるアンケートの回答をいただくフェースシートという形です。2番目に体育施設についておたずねします。3番目が生涯学習複合施設。これは図書館と文化会館という2つの機能についてお尋ねするということになります。4番目が新体育館・生涯学習複合施設に対する意見についてということで、自由意見という形を考えております。アンケートについてはかなりのボリュームがあったり、できるだけ市民の方に書いていただくということで、選択肢型で基本的には丸をつけていただくという回答を考えております。3ページのところは、あなた自身についておたずねしますということで、実際の設問といたしましては性別、年齢、それから職業、お住まいということです。お住まいについては、今市にある14学区の小学校区単位で聞いていこうかと考えております。それから5ページ目以降は、2番目の体育施設についておたずねしますということで、そのうちの（ア）が体育館の利用について、（イ）が新体育館についてということでございます。ただここで聞きするのは、いわゆる授業とか部活動として使う形での利用というのは除いて、ということでございます。6ページについては、体育館の利用についておたずねしますということで、今までの市民の皆様の利用についてのことをお聞きするというので、これまでに体育館を利用したことがありますか、というのが問5です。問6は、今体育館を利用していますかということで、利用している、していないということで、利用をほとんどされていない人につきましては、その理由についてお聞かせ願おうと考えております。それから利用されている方については、今ある既存の施設でどちらの施設をもっぱらお使いかということや、利用の頻度やどういう目的で体育館を利用しているかというようなことが主体です。7ページにいきまして、そのときに利用されるグループといい

ますか、人数とか利用の時間帯や利用時間がどれくらいとか、1時間なのか2時間なのかとか、問13では主にどういった種目のスポーツや運動をされているかということ、今どういうことで使われているかということと、スポーツ歴、それからスポーツをする動機ということが問としてございます。8ページのところからは、新体育館についてのおたずねということで、新体育館をどのように利用したいかということで、個人的なものからサークル、試合とか観戦、スポーツ教室といった形のを上げさせていただきます。問17は、新体育館でどのようなスポーツや運動を行ってみたいですかということで、これは先ほどありました13の問と同じ内容が入っております。この中で健常者のものが多いのですが、バスケットだと健常者とか身障者の車椅子バスケットとかこれがひとつに束ねたような形で書かせて頂いていて、私の方の勉強不足があるかもしれませんが、身障者向けということで26、27あたりは健常者と種目の言葉が違っているとか、ウィルチェアーラグビーですとかは、健常者のものは中々屋内ではないので、そういうものは付け加えさせていただいている、という内容になっています。それから問18は、施設についてということで、メインとなる体育室を核にしてどういう施設が体育施設として必要でしょうか、というのが問18です。問19は、それ以外の附帯する施設という形で2つに分けて体育館の施設でどのようなものを望まれるか、というあたりの意向を確認しようという内容になってございます。9ページ以降につきましては、生涯学習複合施設についておたずねしますということで、3-1、3-2、3-3と分かれています。3-1は、主に図書館機能に関すること。3-2では公民館・文化会館と書いてありますが、文化会館機能についておたずねする。それから複合施設という形になっていますので、それを繋ぐ施設についての機能という、3つのことについておたずねする形になってございます。10ページ目が図書館のこれまでの利用状態ということで、先ほどと同じような形でこれまでに図書館を利用したことがありますかというのが問20で、問21が現在の利用についてということでお聞きしています。利用についてどちらを使われているかというあたりと頻度、その目的、利用時間というあたりをお聞きするという内容になっています。それから新しくできます生涯学習複合施設(図書館機能)という形で書かせていただいておりますが、その中で欲しい機能というものについてお聞きするという形になってございます。それから12ページは、市立公民館・市立文化会館をはじめとする文化・学習施設の利用についてのおたずねということで、同じような形で、これまでの利用の有無、現在の利用の有無という形で利用されている場合の利用する施設、それから目的、その場合の利用の人数、利用時間という形のものを入れさせていただきます。どういう活動をしているのかというのが13ページになっております。それから14ページでは、生涯学習複合施設ということで文化会館機能について、どのような活動を行いたいかということと、その施設に欲しい機能についての内容を、お聞きするという内容になっております。15ページは、その複合施設ということで、複合機能にその他ほしい機能についてお聞きするという内容を入れさせていただきます。最後のページで4として自由意見欄というのを設けさせていただくという形で、今日ご提案させていただいたのは、とりあえず入れられるものは入れて、ボリュームが入れすぎて多くなりすぎているのかなと、正直アンケートを答えていただ

くのポツとこういうのがやってくると、ワツという量に近くなっているので、できればもう少し絞るといことも含めて検討したいとは思っております。あとアンケートする場合の字の大きさとしては、これぐらいの大きさを基本には考えていきたいと、考えておるといところがございます。説明の方は以上でございます。

下村委員長 ありがとうございます。これをもう一回議論する時間はあるのでしょうか。

R I A そうですね。今日いただいたのを…。

事務局 会議は難しいと思います。

R I A 今日いただいて、そのあたりの最終の案を確認いただくのは、今後とらせていただけるかなという感じで、お願いできないかなと。

下村委員長 そうしますと、皆様からこういう意見が、もう少しこういう項目がというのを、今日議論しておく必要がありますね。

R I A はい、もしご意見がありましたら。

下村委員長 いきなりと思いますが、ご覧いただいて何かご意見を直ぐに出していただくのは、難しいかとは思いますが、今お時間をとってぜひご意見をいただいて、発送に関しては、委員長預かりという形にならせて頂くことになろうかと思うのですけれど。

まずは少し説明はありましたが、ご覧いただいてご質問やご意見をいただけますか。こういう点は抜けていますとか、全体的でもお気づきの点があればお願いできますか。ちょっとご覧いただいて、前座で私が気づいた点を少しだけ。皆様もぜひ、特に具体的な内容につきましては、皆様の方がお詳しいかと思しますので、お願いしたいかと思うのですけれど。

表紙はこういう形で行くのですか。これは案ですか。

R I A 今は案で頭紙といえますか、アンケートの主旨というものを入れています。

下村委員長 主旨はこれになるのですね。何に対する市民アンケートかということが入りますね。

R I A タイトルですね。

下村委員長 はい、どうぞ。

岡本委員 体育協会の岡本です。これはちょっと聞きたいのですが、これは市民用アンケートということで、これは各市民にランダムに2000名あたりを対象にやるということですね。これは我々のような体育協会のような競技を目的とした団体用というのと区

別はないのですか。

R I A アンケート内容としては、今は一緒でどうかと、質問なじみにくいものも確かにあるのですが。

岡本委員 要するに一般市民が使われるのと、競技団体が使われるのは、項目が違うと思うのです。施設に関しては、例えばこのスポーツ施設の中で器械体操とか入っていますが、7ページですが、これは器械体操の設備を入れると他の種目が取れないのです。スパン上、会場の都合で。そういうので門真市の方の競技団体の方で、どういうスポーツを選択されるかというのを、ある程度示していただく方が、アンケートの回答をしやすいのではないかと思います。何もかもやるというには、当然不可能ですよ。それから主に活動されている団体等から、主に使いやすい施設を作ってほしいという要望が当然多くなると思うのです。そういうところで、これは一般的なスポーツの範囲を全部網羅されておりますので、門真市の方ではどういうスポーツを主にやっていただくとか、そういうある程度の範囲を決めていただく方が、アンケートでもより効果的なアンケートが集まるのではないかと思います。どうでしょうか。

事務局 団体のアンケートにつきましては、内容が違うのではないかというご意見をいただきましたが、そういうのはあると思います。

今、事務局案としましては、統一的なものをさせて頂きまして、お配りいただこうと考えていまして、そういう必要性があるというのを、今ご意見を頂いておれば、項目の作り直しとか作業ができるのかなと考えております。

山田委員 すいません。よろしいですか。スポーツ推進委員会の山田です。今のアンケートのところなのですけれども、私も同じようなことを言うかも知れませんが、わからないのがあるのです、ポッチャとか、ウィルチェアーラグビーとか、専門家であればわかるのでしょうか、一般市民の方がわかるような種目とか、ポッチャというのを種目だけをあげるのではなくて、ニュースポーツの欄を設けて、そこに種目名を入れるとか、種目名を書く欄があるとか、そうしたほうがいいのではないかと考えているのですけれども。それからこれは新体育館の方でもそうなのですけれども、スイミング系がないのかなと思うのですけれども、そのあたりは予算的なものでないのですか。

事務局 体育館の建設でございますので。

山田委員 体育館の中にそういう施設というのは考えておられないのですか。

事務局 設問としては、今の段階では考えておりません。もし入れるべきなのであれば。

山田委員 できたら将来的なものを考えていただいて。それとできればメインアリーナに観客席があったほうがいいのか、そういうことも書かれていないように思うのです。その

ようなことも考えておられませんか。

事務局 ご意見として頂いておいて。

山田委員 意見として、そのようなところまで入れていただいてもいいかと思うのです。

下村委員長 確かに新しい施設の建設を考えるとときに、基本構想、基本計画、基本設計などスケジュールとしては3年間ほどみておりますが、確かにわからない項目もありますし、皆様にこういう項目を見て頂くときに、今ちょうどお考えいただいている様に、具体的に施設整備をしていくときにどれくらいの容量で、何人くらいができるのか。また、多目的で、ふたをすれば穴がふさがって色んな施設に使えるとかというような、どこまでの可能かというの、私も詳しいことはまだわかっていないのですが、それはたとえば研修会だったら何人くらいの人数がいるのかとか、スポーツだったらどういうスポーツなのかとか、そのために今お話しがありました観客席だったりとか、来られた方はご飯をどこで食べるのかとか、カフェや食堂がいるのかとか、だいたいスポーツに来られたら何時間くらいいらっしゃいますかとか、施設整備に繋がっていくアンケートがこれで充足しているかというチェックで皆様も一度ご確認いただいて、ご意見をいただいて、アンケートの実施に向けたと思います。たとえば図書館だったら、主に本も読めるのですが自習室がほしいとか、夏休みは満杯になるのです受験生で。そういうのを確保したがる図書館も過去あったりするのですが、あるところもありますし色々なのですが。そういうどのあたりのところまで条件としてアンケートでフォローしていくか、というところを検討いただく必要があるかと思しますので、いかがでしょうか。

まだ時間は大丈夫ですね。アンケートが今日のメインのテーマということであるので、ご覧いただいているかがでしょうか。今何点がありましたが、まずヒアリングする対象が個人なのか団体なのか、それが同じ質問でいいのかというところのご指摘があったかと思いますが、一応事務局の方から大きな枠組みを聞くアンケートなので、こういう形態で一律で同じようなスタイルで統一したいというご回答があったかと思うのですが、まずそれはいかがですか。ちょっと問題はありますか。

岡本委員 そうですね。色々なスポーツを多目的でされるのはいいのですが、必然的にできないスポーツもありますので。

下村委員長 お一方が丸をつけられたアンケートで10人答えられて、2000人ですから100人答えたスポーツがここでできないという事も、ひょっとしたらあるかもしれないですね。

岡本委員 そうですね。ですから門真の体育館ができるときは、門真の振興上どういようなスポーツを生涯スポーツとして主に進めていくか、ということはある程度枠がある方がまとまると思うのです。

下村委員長

もちろんそうです。それを中々この場で議論できるかどうかというは少し、生涯教育とスポーツとの関係性について、逆にこういうところは入れておいてほしいとか、実際にスポーツをされている中で、こういうことが足りないというお話を出していただいた方が、門真のスポーツはこれだ、ということを今から1ヶ月の間で決めにくいところもあると思います。この中で抜けているような項目があればぜひ言っていただいて、その他の項目にいれておくのがうまいと思うのですけれど、お答えいただいたから、アンケートだから全部というわけには中々いかないと思いますし、200人が答えていただいた方より、150の方がひよっとしたらうまく利用できることもあろうかもしれませんし、枠組みとしてこういう学習的な生涯学習をするような枠組みの中で、これだけは踏まえていただきたいというような、大きなご意見を聞くというアンケートかと思っておりますので。

柴田委員

途中ですみません。今、岡本委員がおっしゃったように、馴染みのないスポーツの間13と17の中にスポーツでしたらございますけれど、これをもう少し門真中心のスポーツに絞って、後は、その他ということで例えばボッチャやウィルチェアーラグビーなどの馴染みのないのはその他ということで、とりあえずどういうことをされているか意向を伺うのがひとつ重要なことだと思います。その中で伺った上でこの施設をするときに、これを足したらこっちが無理だとかということが当然出てくると思いますので、そこでまた検討して、今門真の体育館でされている以外で、今後どうするのが、例えばフットサルの団体などもありまして、今若者に人気がありますし、どれくらいされているのかをつかむ必要もあると思いますので、13と17が自分が思ったのですけれどダブりますので、今、しているのと、今度したいのが一緒に同じ設問ですべきかそれか、それか17だけ生かすとかすべきか悩んでいるのです。

岡本委員

アンケートは、スポーツ関係なのですけれど、これを聞くにあたりましてメインフロアの大きさとか考え方、多目的な小ホールとか、そういう取れる施設が設けられるとか、そういう具体的なものは全然ないのですか。これからですか。

下村委員長

それを決めていくのです。そういう必要性を。

岡本委員

とりあえずはメインの大きさとかもそれもわからない。

下村委員長

まだこれからです。本当にこれからで、サブを作るのか、控え室がどれぐらいのパン・大きさでいるのかとか。

岡本委員

今言われたように観客席があるのかないのか。ランニング場はできるのかどうか全部これからですか。

下村委員長

そうです。

岡本委員 このアンケートからはじまるのですか。

下村委員長 はい。全部ほしいと言われてもたぶん敷地も限られていますし、予算もありますので、そういう中で現状をまず把握した中で、実現の可能性はどこだという判断を、どこかでしておく必要があるわけです。

岡本委員 はい、わかりました。

山田委員 すみません。よろしいですか。問いの中で項目を3つ選ぶとか、ひとつだけというのがあるのですけれど、そうではなくて、もう少し意見というか希望を書く欄というのを設けたら、反対に集約しにくいのですか。

事務局 統計的にデーターを集約するという観点から、選択するという形をとっているのですけれど、そういうお声の部分につきましては、一番最終の17ページの方には意見を書く欄を作らせていただいているのですけれど、ある程度部分・部分で設ける必要もあるのかもしれないので、それはまたご意見をいただいて。

R I A おそらくですが、アンケートはかなり量の量になろうかと思ひまして、二つの機能で、大きく二つのことで実際には三つぐらい機能のことを聞いているので、結構量が多くなっていて、出来るだけ書く欄があると、皆さん嫌がると思うのがちょっと気にはなっています。もう少し減らす方法はないかということで、先ほどの話がありましたけれど、新しい種目とか新しいところで聞けばいいのか、今のはいらぬのかということ、同じような形で集約してもいいのかなということも検討はしないといけないかなと。ページ数もかなり多くなっていますので、これを見ただけで嫌だと思われるら回答してくれない、という部分も踏まえながらということ、なるべく丸で済ませるようにしたい。これは集計も当然含めてですけれど、そういうことで作らせていただいたというところは、ちょっとあります。

下村委員長 先ほど柴田委員さんからお話をいただいたように、どこかを切るというか重複しているところを整理する必要があるかと思ひますし、ひとつにするのだったら、今やっているスポーツは○で、将来やりたいと思うスポーツには◎にするとか、何か合わせ技で考えていく必要があるのではないかと思ひますけれども。

 はい、どうぞ。

山田委員 あと、駐車スペースとかそういうところがないのですけれど。駐車場とか駐輪場とか。

下村委員長 まず、このスポーツの内容についてはだいたいよろしゅうございますでしょうか。似たような項目は少し整理することを考えていただくという形がひとつですね。現

状を把握するのは現状で、将来ここでどういう施設がほしいかということになればちょっと◎をしてもらおうとか、ここができたらどんなことがとか、要望に使える、生涯学習の構想にも使える話でもやっておられると思いますので、おそらくやはりどれぐらいの傾向にあるかという現状把握というところも、ひとつは大事かと思ひますし、それと意向調査ですね。これはちょっと併せるような形で、ということも必要なことだと思ひますので、どう使うかというところを少し整理していただいて、スポーツですと、現状やっているものと分けた方がいいというご意見もありますので、そこを精査いただく必要があろうかと思ひます。まずスポーツに関しては、そういう形でよろしゅうございますでしょうか。はい、どうぞ。

今西副委員長

新生涯学習複合施設のその他機能に入れてもいいと思ひますので、住民が集まる場という観点が、コミュニティの中核としてのスポーツセンターでいいと思ひます。そういう意味で、よその市庁舎さんがやっていることで、各地団体の郵便受けがあるとか、メーリングポストがあるとか。それから総合型地域スポーツクラブとか、何団体あるかわかりませんが、その事務局が、例えば和歌山県の上富田町などは、JRの駅の中にあるのです。というように、その事務局というのはとても重要なわけで、そういう場所の設定とか、そういったことも新体育館の中で考えるのか、それともその他で考えるのかわからないのですけれど、その他も含めてコミュニティに密着した、そういうスペースも入れるべきだと思ひています。

下村委員長

はい、ありがとうございました。特に自治会館等々の代替機能といひますか、特に都心でありますので、スポーツクラブの方々と会合の場所があった方がいいかもしれませぬし、ひょっとしたらロビー空間をある程度少し大き目に確保した方が、時間待ちの人たちの利用にも使えると思ひます。さらに、今西副委員長さんがおっしゃったように、地域コミュニティの活動の場という話ですね。これはJAなどがやっています道の駅、これが物を買いにいってご飯を食べて帰るという形だけではなくて、そこで研修センターなども設けて、人が集まるコミュニティの場も作られる必要もあるでしょう。自己実現のための自分だけではなくて、やはり先ほどお話がありましたように、どれだけ活動の輪を広げていくのかというコミュニケーションというようなのは、美しい街はお金をかけたらできますが、美しく住みよい場所というのは中々作れないので、いつも言っていることなのですが、とてもきれいな通りですけれど、隣と喧嘩しているとか、そういう街というのはあまりよろしくないのではないかといいことです。ひとつの手段としての緑づくりや図書館機能であったり、スポーツであったりとかする中で、コミュニティ機能というものは非常に大事であると、私も理解しております。そういうふうな複合型というところでは、そういう関連スペースの可能性も、これはアンケートで出てくるものなのか、この意見の中で策定委員会の中でそういう機能を持たせるといい中で、やはり基本構想や基本計画に載せる必要があるという課題整理が出てくるかと思ひます。そのあたりが、実施に向けての課題整理につながっていくかと思ひますので。ありがとうございました。

それでは石原委員、先ほどお話をしかけていらっしやいましたので。一応スポーツ

はちょっと置いておきまして、後でまた駐車場の話もしますので。

桂委員

ひとつだけよろしいでしょうか。問19と36なのですけれども、3つまでというようになっていますが、これは絶対4つは、会議室、交流・休憩スペース、シャワー、ロッカーというのは、やっている人にとったら4つとも絶対必要なのです。3つまでとなったらものすごく悩むと思うのです。プラス問36のところも新生涯学習複合施設のところで、今西委員もおっしゃいましたけれど、例えば1階のちょっとしたところに喫茶スペースで軽い軽食を取るようなスペースがあると、そこで皆さんが活動された後に食事をしたりとかのスペースがあったりするといいいのですが、全体的にそんなことは最初から考えないのだということであれば、要望が多くてもできないと思うのですけれど。コミュニティとか使う場をアンケートによって変えるとか、学習の場だとか交流の場だとか考えると、やはりちょっとコーヒーも飲めてちょっとした食事、ホカ弁みたいなものを買ってきてではなくて、ちょっとしたものが食べられる場所にしましょう、そして会議にしましょうというようなスペースがあった方がいいと思うのですけれど、書くところがなくて、書いたりこの場でプラスアルファすればいいなと思いました。

下村委員長

アンケートで全てを聞くのは難しいと思うのです。ですからどこまで聞くかということは事務局が整理いただいて、このアンケートの目的というのは、市民アンケートではなくて、タイトルを入れていただきたいのです。何のためのアンケートかわからないと、中身が詰められないのです。今回の、例えば現在の本市が抱えている生涯学習の実態に関するアンケートと書くのか、新体育館・生涯学習複合施設建設のためのアンケートと書くのか、これによって意向まで聞くのか、現状把握で済ませるのか、さらに新たな活動を誘発させるようなことまでいくのか、スペースのこととか、そのあたりがタイトルによってだいぶんと違うかと思います。現状把握であれば、現場の施設業務状況をスポーツクラブや文化的な活動状況調査なのか、何かタイトルを入れていただきたいと思うのです。

はい、どうぞ。

石原委員

私も最初の市民アンケートのお願いします、というこの文言が不足ではないかなと思ったのです。非常にあいまいで、具体的には生涯学習施設に関わる施設設備の問題ではないかなと思っていて、そこところが生涯学習と関わったアンケートをお願いしたいということが、最初のところに書いてあればいいなと思うのがひとつ、それともうひとつは図書館のことなのですけれども、11ページです。

ここに新生涯学習複合施設に欲しい機能は何ですかというところで、実を言いますと、6番や8番は現実にボランティアがやっておるものなのです。そうするとこれらの施設設備の部屋というのは、必ず欲しいわけなのです。もちろん閲覧とか参考資料とか児童図書室というのは、もちろん図書館ですから必要なのですけれども。それ以外にボランティアとしてやっているのは、もう既に6とか8のところはやっておりますので、ここで先ほど委員長さんもおっしゃいましたけれど、この結果でこれがなく

なるとか、付け加えられるとかはないとおっしゃられているのですが、非常に心配なのは、読み聞かせにしても対面朗読にしても、ご存じない方がたくさんおられると思うのです、門真市民の中でも。そうするとここで3つまでも言われているのですが、6や8については、やっているのだということコメントとして書いてもらうことはできないのかなというのがひとつと、その次には、15ページなのですけれど。

図書館・文化会館機能以外に新生涯学習複合施設ということなのですが、これ以外にということ、取れる場所があるのかなと思ったのがひとつ。もし何だったら図書館と文化会館機能に含めてということで、交流・休憩スペースとか、情報スペースとか、相談室、プレイルームとかロッカーとかそういうのが、全部の機能の中の欲しい機能になるのかどうなのかというのが、今見たところなのでわからないのですけれど。そこらあたりのアンケートが難易で、どうしっかりと私がひっかかっているのか、良くわからないのですけれど。

下村委員長

ありがとうございます。表紙につきましては、これもタイトルを書いていただくと何に使うアンケートかということも、まずよーいどんで書くときに文章をいれたらわかると思うのですけれど。その時に文章では、新しく建てることとなっており、本アンケートをと書いていますので、その参考になるアンケートなのですね。ですから、今、柴田委員が現状より次に、どんな施設が欲しいかという話をされたのが、まさにそのとおりだと思いますので、そのあたりを整理いただきたいと思います。ちょっと考えて、ここは今のタイトルと、いただいたデータは統計的に解釈し個人のデータが出ることはありませんので、ということを一応誰が書いたか無記名で良いのですけれど、統計解析しますというのをどこかで書いていただいた方が、アンケートも書きやすくなるかと思います。

先ほどの11ページはいかががですか。問26、読み聞かせコーナー、対面朗読室、これ他のも全部やっていることなので、無いやつはありますか。児童図書室ないですか。

石原委員

あります。

下村委員長

これ質問やめますか。3つをやめますか。これ聞かなくても全部考えていたら必要なものばかり。

石原委員

少なかったらいらぬのかという…。

下村委員長

少なかったらいらぬということにはならない。これ3つまでと書かなかつたら全部○がつけられる話ですね、たぶん。

事務局

庁内の議論で、そのことに関して議論をしまして、はじめは2つという部分もあったのですが、少ないだろうということで、今3つになっているのですけれど。

下村委員長 中々難しいかもしれませんが、欲しい機能というの、将来欲しい機能と、出来たら一番よく使われる機能は何ですか、ぐらいにしておいた方がいいかもしれませんが。だけど、少ないからということではなく、これは全部必要なものというまず前提なので、これを全部おくのだったら別に聞かなくても、このアンケート設問が多いのでというだけです。もし聞くのだったら、3つは今どうするかご検討いただけますか。

事務局 最低限図書館として備えるべき機能としてというのがあると思うのですが、そういうのを見極めながら、図書館としてどんなものがあるのかという部分だと思うのです。そのときに、そのアンケートで体育館も同じなのですが、多い少ないというのを〇×だということではなく、こういうことが望まれているのだというものでございますので、そういう観点でやっています。

下村委員長 少なくとも少ないから作らないということではない、ということは確認できたかと思います。最後の15ページに関しましては、問36ですが図書館機能・文化会館機能以外に新生涯学習複合施設に欲しい機能は何ですか、というところで、3つまでこれを以外ではなくて含めてということ。

石原委員 ここに書いてあります1～5ぐらいのことは、図書館であっても他の体育館の施設であっても、新たに付け加える機能であっても、なんとなくいるような気がしたものですから。それ以外にということになれば、例えば図書館に来た人が自分の持っているものを、ロッカーなどに預けてからいくということなのかと、もしロッカーができるということになると、駅のロッカーみたいな感じになるのかなと思ったりしたのですが、各施設の中に今だったらロッカーがあるのですが、そういうようなのはまた別のロッカーというような意味なのか、それともプレイルームというのは、いわゆる小さいお子さんのための遊ぶ場所として、親子が楽しめる施設として設けるのであれば、図書館とはちょっと違った意味があるかと思ったりするのですが、実際のところ私はどれほどの部屋の広さというものを…。

下村委員長 それは考えていただかなくても結構です。

石原委員 いただけるのかわからないので。私がここで。

下村委員長 いただくといかという話ではなくて、ここでどういうものがあれば、皆さん特定の方ではなくて、市民の方々がいかにお使いいただけるかどうかというところで、こういう施設があったらいいのでは、ということだと思うのです。

石原委員 そうすれば、現在の図書館の中で11ページには1～9まで書いてあるのですが、例えば図書館の中で交流の場所がほしいという場合は、その他の項目に書くとい

うこととなりますね。

下村委員長 これは図書館機能に欲しい機能は何ですかですから、交流機能というのは、その他の中になるかもしれないですね。

石原委員 わかりました。

下村委員長 ちょっとそのあたりの仕分けは確かにいるかと思えますけれど、図書館機能と文化会館機能と、どこまでが機能かというのはまた難しい話になってくるかと思うのですが、図書館は少なくとも本を読んだり情報を得たりとか、一般的に図書館に来た人が、他にどんな施設があったら使い勝手がいいのかということだと思えます。それが先ほどお話いただいた、駐車場はどれくらいいいのかというお話もありますし、そういうところですね。駐車場が本当に何百台いるというようになれば、駐車場をつくるのか、地下とかはお金がかかり中々大変ですし、平場で行くと中々難しいですし、どれぐらいの駐車場確保が必要になってくるのか、駐車場の位置はどこに必要なになってくるのかとか、ということは構想に書いておくべきだと、基本計画の中である程度位置づけておかないと、次の実施に向けて図面を書けないのです。そのあたりも、他の公共施設周辺の駐車場の状況で、はみ出しなどの状況も少し整理して、実際にどれぐらいの昼間と土日とで確保できるのか、駐車場がないとってしまうのも、身障者の方だけの駐車スペースぐらいにするのか。いやいやありますというのか、あるとなったらかなり皆さん来られますので、どうするかですよ。ですけど、重たい荷物とか、本も7冊とか借りられたら重いでしょうし、そのあたりの検討の余地があるかと思えますので、そういうところを実施に向けて駐車場の入口はどうしたらいいのか、というところは押さえておかないといけません。どれくらいのおおよその確保を正当な数字を、事例を元につかんでおかないと実施に移れないですし、設計条件を出せないのです。ですからそのあたりで全部をアンケートで使うわけにはいかないで、それはコンサルタントの方に頑張ってもらって、事例調査なり、他事例などを調べていただき、門真市のここにどれくらい必要なのか、という話がまたいると思います。そういう中で、現状把握と一部利用できるようなアンケートであっていただきたいと思えますので、先ほどもお話がありましたように、書いてあるのはだいたい図書館でいる機能ばかりです。所管外でもだいたい思いつく大事な施設で、プレイルームとか待合的な話とか色々なっていますけれど、要ると思います。要るからもういいということではなくて、どれくらいのボリュームでどれくらい望まれているのかという、そういう把握というのを、先ほど事務局でもされていましたが、そういう位置づけのアンケートかなと思っています。アンケートをしても、全部要望にお答えできないということもあると思います。そういうことは、この会議では認識しておくべきだとは思いますが、アンケートで多かったからといって、全部やっていたら大変なことになります。ですからそのあたりに取捨選択はうまく事務局でしていただいて、ここでご確認いただくと。ここでご意見いただいたものを整理いただくというキャッチボールで、最終的に詰めていかなければならないかと思えます。

清澤委員　　よろしいですか。アンケートが多くなりすぎているというのももちろんあるかとは思いますが、このアンケートの目的がそのものですよ。今回のものは、一点のエリア全体をどういうふうにするべきなのか、ということだと思います。例えば共用部分で、外部空間で例えば屋外ステージだとか、あるいはプラネタリウムがほしいとか、公園もそうですが、市民広場的なものがほしいとか、施設の要望などはどうなるのでしょうか。別途に何か検討していくというのはあるのでしょうか。これはこの施設、箱物だけに絞ったアンケートになるのですか。

下村委員長　　生涯学習としての位置づけのアンケートなろうかと個人的には思いますが、まちづくり系になってくると、非常に膨大な量になろうかと思うのです。例えば図書館に行った帰りに公園があれば休憩されます。本を借りたあと、貸出コーナーは屋外に閲覧広場があった方が春とか秋はいいのではないですかとか、というところまで本当は聞きたいのです。そのへんはむしろ別途検討していくということなのでしょうと思います。エリアはかなり大きいのでしょうか、施設はそのうちの一部ということで、もちろん駐車場もそうでしょうし、繋ぎのスペースも結構あるでしょうから。

石原委員　　私も、今おっしゃっていましたように、読み聞かせの時に今現在は部屋の中ばかりなので、今おっしゃっていたようにちょっと屋外でできるような施設みたいなものがあればなというのは、私たちの会員の希望でもあるし、聞く側の方の希望でもあると思うのです。そういうことについてまでも、今回のアンケートには。

下村委員長　　ご希望を括弧書きで書かれるぐらいだけでしか、それを全部想定してやるのは中々、屋外で本が読める広場がほしいですかとか、読み聞かせができるというのであれば屋外でいろいろと活動できる場所が必要ですか、ぐらいの項目ぐらいでは聞けるとは思うのですが、それをすべて、例えばスポーツの練習が屋外でできる準備室とかが必要ですか、とか全部聞かないとだめなので、中々細かい部分は聞けないと思うのですが、どこまでいけるかですよ。そのあたりは別途詰めていくとかですよ。

柴田委員　　これは2000人の方の一般市民が対象で、あと500は各団体ということで、今来ていただいているのは、例えば図書館とか文化会館、公民館等でスポーツで代表される方に来ていただいていると思うのですが、アンケートを実施した場合に当然、話し合いいただいて、こういう部分が足りないということで、専門的に見ていただいて詳細について持ち帰っていただいて、話をする中でアンケートでは捉えきれないものとか、どんどん見ていただいたらどうかと思うのです。

下村委員長　　私も、こういうものは2段階でよくやるのです。だいたいの傾向を捕らえるためのアンケート調査と、後は関連団体のヒアリングとか詳細調査をやったりすることが多々あるのですが、今回は団体の方々にも同じアンケートするというので、2段階を一度にやってしまうということですので、柴田委員さんがおっしゃるようにそ

ういう形で一回出た段階で、皆さんにご議論をいただくという形で検討をさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。そのあたりのご意見はございますか。

稲毛委員

今のことに関連してよろしいですか。利用団体さんにつきまして、同じアンケートをとってもいいのですけれども、これは利用団体している人が一番良くその施設について何がほしいとか、今の現状の施設の課題であるとか、次に造るときにはこういうのが欲しいとか、だいぶんお分かりになられているのではないかという意味では、また違うもう少し突っ込んだ関係というものをしっかりとって、現状の門真には社会教育施設もいくつかありますけれど、スポーツにしても市民プラザ体育館というのがある、そこで満足しているのか、あるいは何が足りないのかというようなことを、しっかりとアンケート、それは別に慌てなくてもいいと思うのですけれど、しっかりと取っていただいて、だから今度造る体育館なり学習施設にはこんなものがほしい、これを付けようとかという議論も、絶対そういう過程も1回は入れないといけないのかなという気がしております、そういうのも委員さんからもしっかりと。

下村委員長

多岐にわたる団体でありまして、私もアンケートをするときに、活動をさせていて5年経過されているところと、10年経過されているところと、20年経過されているところとでは、中々活動の人数や様相や活動頻度やかなり変わってくる経過をもっています、この活動団体はこういうご意見やから2年後できる時につけて、ひょっとしたらそのメインの活動が5年後にはなくなっているような、申し上げにくいのですけれど、ずっと繋がってほしいのですけれど。ですから要望をすべて飲むというのではなくて、わりとマルチ的に使えるという、たぶん1問1答式でこの要望はこう反映できるというのではなくて、そこをマックスとして色々使えるような形がうまいのではないかな、というように私は思うのです。ですけれど、ひょっとしたら至らない分が出てくる可能性がある、それができるだけ少なくなるような形で実施に向けて、最低限押さえておかないといけないと思います。こういう活動する部屋があったときには、横には必ずシャワー室が必ずあって、そこはユニバーサルになっていてしかもエレベーターが近くにあって外へ出て、そこには駐車スペースがあるという、そういう関連付けの一体的な流れ。例えば学生と公園設計などをするのですけれど、砂場を作ります。今、砂場で問題になっているのは、ご存知のように犬猫さんです。それと同時に、中学生は砂場には遊びに来ないのです。誰が遊びに来るのかというと、プラスチックのスcoopを持って遊ぶ子なのです。一人でこられないのです。そうすると保護者の方が、横で見ておかないと不安です。もし、20m・30mと離れていると、砂を食べるのを見たらお母さんはダッシュして来なければなりません。砂場と休憩室は一体型で作らないとだめだという、そういう発想が皆様でないかわからないことが、たくさんあるかと思うのです。そういうことを全部は無理なのですけれども、できるだけそういうところをざくっと基本計画か、もしくは構想の段階でそういう配慮をしてくださいと、構想の中に書いてもいいと思うのです。事細かに書くとも実施設計に行きますので、そうではなくて、こういうこと配慮してくださいという整理ぐらいは構想のどこかで、細かすぎると全部書けないので無理だと思いますが、

最低限これぐらいはというところは、皆さんでチェックいただけたらと思っております。私の意見ですのでそうでないと、お話もどンドンしていただいているのですけれど。

今西副委員長

委員長にうまくまとめていただいて、私もまったく同感でございます。別のことなのですけれど、アンケートの項目について質問と疑問と要望と3つあります。まず質問なのですけれど、9ページの3-2の(ア)ところに市立公民館という言葉が出てきます。ということは社会教育法に基づく公民館の助成を文化庁から貰われるということをお考えなのか、そうすると当然社会教育ということですよ。今度新しい施設を捉えていく部分で、複合施設なのかどうかということがひとつ質問です。それから疑問というのが11ページですけれど、9のところでは行政情報コーナーと書いてありますが、先ほど私が申し上げたように、生涯学習というのは社会教育と一番違うところのひとつとして、官と民の乗り入れというか、民を含めた広がりであると言いました。なんでこれは行政情報コーナーなのでしょう。もし社会教育の図書館でいくのだったら、それは行政情報コーナーでいいけれど、もしそうでなかったら学習情報コーナーですよ。そもそも認識として、いつまでライブラリーなのかということなのです。国はもうライブラリーではないのです。図書館ではなくて情報館に移行しようという考え方を、長いスパンで持っておられる。そうすると図書館ではなく情報館で見たときに、これはあり方が社会教育の発想でしかない。そういうのはいかなものかなという感じがします。

要望ですけれど、先ほどから色々なが出ていますが、今から言うことは金もかかる人もかかる安全もあることで、たぶん行政も嫌がると思うのですけれど、先ほどプレイルームの話が出ましたけれど、託児です。図書館に託児室を供える図書館が最近出てきているのです。図書館でなくても体育館でも当然親子できますでしょうし、そういう意味でのことをアンケートで取ってしまったら、要望がきたときに行政が困ることになるのでそのところは、事務局にお任せしますが、そのところもちょっと視野に入れてください。以上です。

下村委員長

ありがとうございました。ちょっと内部で図書館法との関係を整理いただけますか。それと11ページに関しては、行政情報という言葉を残す必要は特にないかと思しますので学習情報コーナーという形で、お願いしたいかと思えます。託児室が必要ですかと聞きにくいですね。丸をつけられるでしょうけれど。

岡本委員

今、体育館でキッズコーナーというのが設けられていますけれど、子供さんが長時間同じところで父兄と一緒にいるというのは難しいので、交代制でバレーボールをさされていまして、一人が面倒を見て2~3人の子供と。

下村委員長

運営は別として、託児スペースかな。表現が難しいですけれど、運営は良いやり方がありますでしょうか。ちょっと付加的な要素についても、出来る出来ないはともかく、少しあげておいていただいて選択もしくは取捨になるかもしれませんが、できる

ものとできないものという整理がいるかもしれませんね。よろしくお願ひしたいと思ひます。ちょっと時間も押してまいりましたが。

R I A 今のお話は、この生涯学習複合施設の場合は、最後のところのその他の機能という意味合いでよろしいですよ。ひとつの中に図書館機能と文化会館機能があつて、それプラスアルファのところの機能という意味合ひということですね。

下村委員長 そうです。メインは図書館機能・文化会館機能であつて、付加的なところで、食堂（カフェ）系であつたりとか、広場、交流・休憩スペース、屋外の話も入ってきますかね。それとあとはプレイルームと相談室、キッズスペース、これは屋内・屋外をちょっと書くかどうか。プレイルームは部屋でしょうけれど、交流・休憩スペースは建物内外どちらでもいいわけですよ。そのあたりを付加的機能として、最近のスポーツをされる方、図書館に来られる方、文化会館で例えば研修を受けられる方等を色々想定する中で、どういうスペース・空間がいるか、建物の中にいるのか、屋外にいるのか、そのようなご要望も記述して、一日のライフサイクルの中で、朝ちょっと早く来られて、10時から本を読んで午後から体育館で汗を流して、屋外の木陰のもとでもう一回本を読んで帰ると、そういう優雅な生活をやってみたいですね。

 というような例えば55歳男性・日曜日・こういう活動するとか、30何歳・子供さん4歳と2歳、どういうことでここに来られて活動するのかとか、半日過ごすにはどうするのか。ちょっとそういうのをシュミレーションしながら、もちろんそこでスポーツをされるという方も、実際もちろんあると思ひますけれど、一般の方々の想定をしながらどういうアクティビティ・活動が発生するかどうかというのも、付加的な要素の中で大事であると思ひるので、ここで半日過ごしてもらいましょうとか、カフェがあるから1日過ごしてくださいというのは、中々難しいかもしれませんが、小学校の30人や60人ぐらい、二クラスがここに来て学習に使うようなスペースがいるのかどうかということで、それだけのスパン広さがいますし、そういうのも欲しい機能の中にいれておくのもいいかもしれませんので、ちょっとご検討いただければと思ひます。

石原委員 先ほどの11ページのところで、9番の行政情報コーナーというのが学習情報コーナーにするとおっしゃいましたが、そしたら行政情報コーナーというのは、意外と住んでいるものからしたら、ちょっとそこに資料があると便利かな、と思つたりするのですが、それを例えば15ページのところで。

今西副委員長 学習情報コーナーのところでは、当然行政情報コーナーも含まれるのです。

石原委員 含まれるのですか。それならわかりました。

今西副委員長 排除するのではないのです。もっと広いという意味なのです。

石原委員 そうですか。わかりました。それなら私15ページで言おうかな、と思ったのですけれど。

下村委員長 15ページの情報コーナーに学習といれていいのでしょうか。

R I A どうなのでしょう。これはたぶん色々な団体さんの意見交換するための情報の場みたいな話も、学習情報コーナーという意味合いのところでいいのでしょうか。

今西副委員長 入っています。

下村委員長 意見交換のここの相談室

稲毛委員（？） ミーティングルームの方がわかり易いかもしれないですね。

下村委員長 それももとは10人から20～30人までの大きさでいいと思うのですけれど、その大きさとか、どこかでやらないとだめだということですね。

下村委員長 すみません。不手際でぎりぎりの時間になってきてはおるのですが、どうですか。皆さんご意見があったら。

事務局 今週中にいただければ。

下村委員長 今週中に一度、反映できるかどうかはぎりぎり考えていただくとして、何かご意見があれば事務局の方にお伝えいただくということで、よろしゅうございますでしょうか。スケジュールの都合もありまして、次のアンケート発送までには会議が開かれる時間がないということですので、事務局と私の方ですみませんが調整させていただいてということになるのですよね。決めさせていただきたいと。

事務局 委員長の一任で。皆さんには送らせていただきますので。

下村委員長 一応、委員長に一任ということで、よろしくお願ひしたいと思います。
議題は一応これで終わりでしょうか。それでは事務局にお返ししてよろしいでしょうか。後はその他で良かったですか。

宮本委員 皆さん、その他に入るのではないかと思いますけれど、この委員のお話がありましたときに浮かんできましたのが、私の方は複合施設の方ですけれど、古川橋の駅を降りたらその前にきれいな公園があって、そこには門真市の花さつきがずっと植わっているのです。それから春には桜の木も一杯植わっていて、秋には紅葉が咲くといいますか色づく。そこのところに噴水があって、その向こうに文化会館があると。そういうイメージが湧いてきまして、これはまちづくりの事になるかもしれませんけれ

ど、そういう文化の香りが出る文化複合施設になったらいいな、と思った次第なのですけれど。

今色々こうやってお話をさせていただいている中で思いついたのは、どういうところがあるかといいますか、どういうのがいいのかというのが素人ですからわかりませんので、近隣でお勧めの施設があれば見学出来たらいいなと思った次第です。

下村委員長 見学ですか。資料整理ではなくて…。

宮本委員 見学したら、またここで中身がこういうのがあったらいいなとかいうのがイメージしやすいのかと思ったわけなのですけれど。
無理でしたら仕方ありませんけれど。

下村委員長 ここで、何人かで行く計画ですか。それとも全員で。

宮本委員 この委員会で。

下村委員長 委員会ですか。関連施設が、どこがあるか。

宮本委員 そうなのができたらいいかなと思って。

下村委員長 資料整理で他事例の整理というのは可能ですか。

R I A そうですね。そのあたりは。

下村委員長 情報提供になるのか、建築雑誌。

R I A 基本計画の中で規模調査とか、類似施設の調査という話になって、構想の段階では予定していなかったのですけれど。前倒しでそれをやらないと間に合わないという話に逆になってしまっていますね。それは検討させていただいて、とりあえず情報提供みたいな話で。

下村委員長 ですから基本計画が出来上がる段階で、次の基本計画の段階ではなくて、基本構想の段階の頭で他事例の。

R I A できるのか、それはあまり遠いところではしょうがないし難しいので、近場でそれなりにあるかどうか。今後、近いのがあるかどうか、それは調べさせていただいて、またお知らせさせていただければと思います。

下村委員長 公益施設の事例等、今お話がありましたように屋外とかと一体的に利用しているようなという形態ですよね。ですからできたら建物のパースだけではなくて、屋外空間

の平面が載っているような事例調査が、もし可能であればしていただいて、もし近場があればご提供いただけていけるかどうか、そのあたりはご検討いただけて。少なくとも資料整理はお願いしたいと思います。

事務局 わかりました。資料整理は検討させていただきます。

下村委員長 そしたら時間が参っておりますので事務局にお返ししたいと思います。

事務局 ありがとうございます。次回第2回の策定委員会でございますが、平成24年8月を予定しております、改めて日程調整をさせていただきますご連絡したいと思います。以上でございます。

下村委員長 はいありがとうございます。私の不手際で時間が4時半を回りました。皆様のご協力を得て、なんとか1回目を無事に終わることができました。ありがとうございます。今後アンケートにつきましては、私に一任いただくということで了解をいただきまして、次の8月にはアンケートの集計が終わっていて、その中でアンケートの詳細のご報告と、同時に具体的に構想をまとめていく課題整理に結び付けていくようなご意見を頂戴するような資料整理になろうかと思っておりますので、また8月ご参集いただきますようお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。